

路線バスの定時性向上に取り組みます！ PTPS（公共車両優先システム）の試験運用を実施します！

宮崎交通株式会社（代表取締役社長 菊池克頼）では、平成 29 年 3 月 27 日（月）より宮崎県警の協力のもと、PTPS（公共車両優先システム、以下PTPS）の試験運用を開始致します。

PTPSは、専用車載機を搭載したバス車両が「光ビーコン」と呼ばれる赤外線を使った情報収集提供装置の下を通過した際の走行地点や行先などのバス情報を交通管制センターへ送信し、“先の信号機で停止しないように”、あるいは“停止時間を最小”として走行ができるように信号機を制御するシステムです。

今回は、宮崎市内を運行するバス車両 20 台にPTPS車載機を搭載し、バスレーン規制時間帯（7:30～8:30、17:30～18:30）に稼働させ、時短効果の検証を行います。

宮崎交通では、今後、既に実施されているバスレーン規制強化、今回試験運用するPTPS整備に加え、バス停間所要時分の見直しを平成 29 年 4 月 1 日ダイヤ改正より継続的に実施し、今後の定時性確保による公共交通利用促進や路線バス利用者の利便性向上に努めて参ります。

※PTPS・・・Public Transportation Priority Systemの略

【PTPS試験運用について】

試験期間： 平成 29 年 3 月 27 日（月）から

稼働時間： ①7:30～8:30、②17:30～18:30 のバスレーン規制時間帯（平日のみ）

※稼働時間については、効果検証の為、変更する場合があります。

試験区間： 宮崎市役所前交差点から江平五差路までの区間の一部

試験車両数 路線バス 20 台

試験便数 28 便（朝 14 便、夕 14 便）